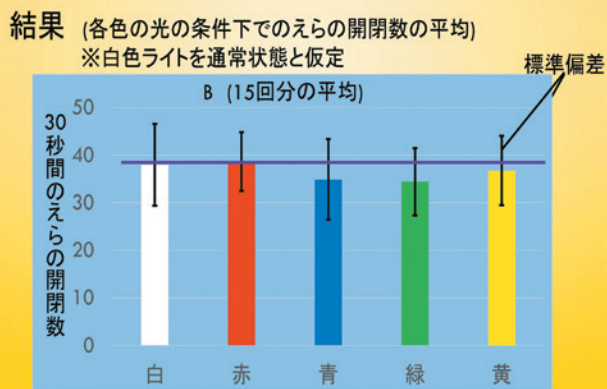


SSH活動報告

関東近県SSH指定校合同発表会に参加

3月21日(日)、関東近県SSH指定校合同発表会がオンライン開催されました。本校からは2年生(現3年生)SSHクラス全員が参加し、口頭4件、Webポスター27件の発表をしました。他校の生徒とWeb上で活発な議論が行われました。



村上さんの研究「ゼブラフィッシュに対する光とストレス」の発表スライドの1枚

オンライン口頭発表に参加して

3年10組 村上 七海

今回の発表会は私にとって初の校外発表であり、初のオンライン発表会でした。初めて他校の方々に口頭発表をしたことで、オンラインならではの発表の伝えにくさや、緊張感を感じることができました。また、発表を聞いてくださった他校の方との質疑応答では、校内発表だけでは得られなかった実験の改善点や発展箇所を知ることができ、今後の実験をより発展させていく材料を得ることができました。他校の方の発表では、発表をする際の話し方や、図などの表し方などの技術を見ることができました。また、発表の内容でも着眼点や実験の進め方などがとても面白いと思いました。今後の発表会でも今回得たことを生かしていこうと思いました。

科学プレゼンテーション実習を日本科学未来館で実施

4月24日に、1年SSHクラスの生徒が日本科学未来館にてプレゼンテーション実習を行いました。各自が未来館の展示内容について学び、その内容を展示物の前で発表する取り組みです。前週の授業ではプレゼンテーションの基礎を学んでおり、今回はその実践の場でした。また、1年生のティーチングアシスタント(TA)として、2・3年生12名が同行し、1年生の活動をサポートしてくれました。



プレゼンテーションのレベルアップ

1年10組 西崎 孔明

未来館実習に参加して、自分自身が前回のサイエンス基礎の授業でプレゼンテーションを行った時よりも成長していることを感じました。前回の授業でプレゼンテーションのポイントを学びましたが、その時はポイントの一つである「アイコンタクト」があまりできていなかったように思います。しかしこの実習では、展示物についてのプレゼンテーションをグループ内で行った時に、自然とアイコンタクトが取れるようになっていき、自分のスキルが上達していったような気がしました。また、一緒に発表した同じグループの仲間の発表もとてもわかりやすく、この実習でみんなもレベルアップしていると感じました。



TAとして参加して

3年10組 長見 海音

最上級生のTAとして、1年生に活動の指示を出す大役を担いました。強く感じたのは、人をまとめ、指示を出すことの難しさでした。前に立ち、活動内容を知らない1年生に自分の伝えたいことを伝え、自分の思ったとおりに進めることはとても難しいと感じました。しかし1年生は、僕の言葉足らずの説明でもしっかりと行動してくれてとても助かりました。また、2・3年生の他のTAが活動内容を理解してくれていたため、1年生の質問に的確に答えてサポートしてくれて、「次に何をすればよいかわからない」という1年生がいけない状態にできていました。仲間を頼ることによって人を動かすことが一段とやりやすくなり、さらに1年生に負担をかけずまとめることができました。